

西江通信

冬号 - Vol.14 -



現場だより	1-2
就活イベント	3
特集・受賞 Report!	4
PLUS NEWS!	5

川西芽室音更線中島橋架換工事（旧橋解体）（補正・繰越）外で行った現場見学会の様子。重機の迫りに驚く帯広工業高等学校の生徒たち（撮影：石澤）



発行日：令和4年12月28日（水）発行 冬号【通巻14号】 / 発行元：西江建設株式会社（帯広市西4条北2丁目20番地） / 編集者：総務部総務課
連絡先：(TEL) 0155-25-9105 (FAX) 0155-23-9176 (MAIL) info@nishie-co.jp・・・西江通信に関するご意見・ご感想などは左記の連絡先までお寄せください・・・

現場だより

工事名 : 令和4年度 畑地帯芽室北第3外1地区72工区

受注者 : 西江・早水経常建設共同企業体

施工場所 : 河西郡芽室町

施工期間 : 令和4年5月25日～令和5年1月20日

発注者 : 北海道十勝総合振興局

請負金額 : 273,427,000円

進捗率 : 89.3% (12月末)

現場職員 : 石母田一彰、丸山翔大、京藤泰 ((株)早水組)、齊藤雄基 (派遣)



工事概要

本工事は、芽室北地区内の畑地かんがい整備を行う工事で、工事場所が芽室町西士狩・北芽室・毛根地区内に26路線と点在しています。

「畑地かんがい」とは、農作物が水を必要としているときに適正な水分を与えるためのシステムのことです。芽室町の農業は、小麦、馬鈴薯、てん菜、豆類の畑作4品を中心とした大規模経営を行っています。また近年、スイートコーンなど野菜類の作付が増えてきている傾向にあり、畑地かんがいの整備が求められています。

工事内容は、工事箇所周辺にある既設管水路を分岐させて、受益者が必要としている畑まで管路を延長し、給水栓を設置します。畑の際を平均1.8m程の幅に細くバックホウで掘削して、直径75～200mmの農業用ポリエチレン管を布設後、管と管を融着により接続、埋戻しする事を繰り返して、給水栓の場所まで延ばしていく流れになります。融着時には、細かな作業手順や注意事項を厳守する必要があるため、工事開始前に講習を受け、接続部分の品質を確保しました。

また、交通量の多い道道を横断する箇所が4箇所ありましたが、推進工法(地面の掘削を最小限に抑えて、地中内で管を水平に押し進める工法)によって、通行止めによる交通規制をせずに施工しました。

現場代理人

石母田 一彰

ISHIMODA KAZUAKI



大変に感じること

現場が作物を育てている畑ということで、作物収穫後にしか施工できない箇所が多く、工程が厳しい現場です。

関係者や現場職員と密に連携し、しっかりと工程管理を行いながら正確に工事を進めています。

もっとも達成感を感じること

施工が完了し、給水栓から水が出た時が一番達成感を感じる瞬間です。これからこの畑で農作物を育てていく農家さんなど、関係者の皆様の役に立つことができたなと感じられます。

芽室町をはじめ十勝は農業がとても盛んな地域なので、この工事を通して、美味しい作物がより多く収穫できるようになれば、結果的に地域の皆様の役に立てることなので、難しい工事ですがとてもやりがいがあります。

仕事のこだわり

目指しているのは「現場に従事する人が働きやすい環境を作ること」です。

自分の知識やこれまでに経験したことを積極的に伝え、周りの人達が仕事に活かせるようにしています。そうすることで少しでも仕事がしやすく、働きやすい環境に近づいていくと考えています。



▲畑の際をバックホウで掘削



▲農業用ポリエチレン管を布設



▲推進工法による施工



▲給水栓を設置

現場で働く若手職員の様子

本現場には、令和2年に入社した20代若手職員の丸山翔大さんと、派遣社員の齊藤雄基さんが配属されています。2人は同じ学校の卒業生で、年齢も近いのでお互い協力しながら一生懸命に仕事をしてくれています。私も積極的に自分からコミュニケーションを取りにいこうようにして、みんなが話しやすい環境になるよう心掛けています。



▲現場で活躍する若手職員の丸山工事課員（左）と派遣社員の齊藤さん（右）

休みの日の過ごし方

休みの日は、ビールを飲んでテレビを見ることでストレス発散しています。ですがもう若くないので、今は我慢して糖質70%オフの発泡酒を飲んで少しは体に気を配っているつもり…です。

テレビはバラエティー番組を中心に観ているので、少しはニュースも観なきゃいけないなあとは思いますが、なかなかできませんね…。

ちょっと小話

趣味は釣りです。休みの日はほぼ釣りに行きます。春はサワラマス、夏はワラフトマス、秋はアキアジ、冬はワカサギと、一年中、途切れることはありません。魚が来た時の『ピクピク』と竿から伝わるあの感触がたまりません！

工事課 工事長

平成8年入社

帯広工業高等学校出身

趣味：釣り

就活イベント

インターンシップ

9月7日(水)～9日(金)の3日間、帯広工業高等学校環境土木2年生の生徒さんがインターンシップに参加してくれました。1日目は本社駐車場においてレーザースキャナーを使った3次元測量体験、2日目は実際の現場で測量実習とドローンの操縦体験、3日目は管内の現場見学を行いました。

2日目の実習では、同校卒業生でもある先輩社員(入社2年目)の指導を受けながら、一生懸命に取り組んでくれました。今回の経験が進路選択の一助になれば嬉しいです。そして、卒業後はぜひ私たちと一緒に働きましょう!



▲初めて触れる機器の前に、やや緊張した様子



▲卒業生でもある先輩社員から指導を受ける様子。現場で活躍する姿を見て、何かを感じてくれたでしょうか。



現場見学会

9月14日(水)・21日(水)に、川西芽室音更線中島橋架換工事(旧橋解体)(補正・繰越)外<現場代理人 中島陽>において現場見学会を開催しました。この見学会は、帯広工業高等学校・帯広農業高等学校の生徒さんたちに建設現場を見てもらい、仕事の理解につなげてもらおうという趣旨で行われました。

大きな重機が動くたびに「おお!」と声をあげ、その迫力に驚いていた様子。現場代理人に質問する姿も見られ、皆さんとても熱心に勉強されていました。これをきっかけに、今よりもっと建設業に興味を持っていただけたら嬉しいです。



▲重機に興味津々の様子



▲ドローンで記念撮影(左:帯広工業高等学校/右:帯広農業高等学校)

イベント出展

建築・土木系学生 のための 仕事研究&インターンシップフェア 出展しました!



ご参加
ありがとうございました!

11月23日(水)、札幌パークホテルで開催されたマイナビ主催のイベント「建築・土木系学生のための仕事研究&インターンシップフェア」に出展しました。

ブースには5名の学生さんが来てくださいました。夏のインターンシップに参加してくれた学生さんも参加してくださり、久しぶりの再会がとても嬉しかったです。

このようなイベントでは、お話しできる時間がとても短いので伝えられることにも限りがあります。だからこそ当社のブースにいらっしゃった際は、どんなことでも遠慮なく聞いてください。採用担当者をはじめ、20代の若手技術者が正直にお答えします!



令和5年度 新卒採用募集要項



令和5年4月入社
土木工事現場の施工管理を担う技術職員
および事務職員を募集しています!



- ▶ 土木工学系学科出身の方はもちろん未経験の方も歓迎
- ▶ 高い給与水準、年3回のボーナス支給
- ▶ 完全週休二日制(土日)を導入
- ▶ 充実した支援制度
＜奨学金返済支援制度・専門学校派遣支援制度ほか＞
- ▶ オンライン会社説明会も随時開催します

採用情報



詳細はホームページを
ご覧ください

特集

BCP 訓練

BCPとは、「災害時事業継続計画 (Business Continuity Plan)」の略称。
地震・洪水などの自然災害や、事故、その他危機的な事態が発生した際に、
重要業務を中断させず、また例え中断してもできるだけ短い期間で再開できるよう
平常時から事業継続について準備しておく計画のことです。

11月2日(水)、“台風による大雨・洪水災害”を想定したBCP訓練を行いました。「第1部 拠点移動訓練」「第2部 連携確認訓練」「第3部 防災備品の周知」「第4部 総括」の4つの内容で構成し、2時間に及ぶ訓練に災害対策本部、総務班、業務班、対外復旧支援班、現場職員に分かれて、全職員が参加しました。



▲災害対策本部の立ち上げ ▲工事事務所に資材や食料を運び込む様子

例年は本社でBCP訓練を行っていますが、今回は十勝川の氾濫によって本社(西4北2)が浸水被害を受ける可能性を考慮し、災害対策本部を本社から帯広工事事務所(西18北1)に移す訓練から始まりました。第2部では、代替拠点となった場合でも行政機関との連携や現場状況の把握、人員・資機材の確保など災害時の対応をスムーズに行えるよう細やかにシミュレーションを行いました。



▲Zoomで現場の状況確認 ▲ゴムボート組立ての様子 ▲工事事務所の非常用発電機

第3部では、ゴムボートやダンボールベッドの組立て、非常用発電機の起動方法を実践しました。今後も引き続き訓練に取り組んで参ります。

受賞Report!

陸別町からの感謝状

9月21日(水)、北海道横断自動車道 陸別町 小利別南改良工事 <現場代理人 水上陽出明> では、地域貢献活動として銀河の森コテージ村キャンプサイトに3基の看板を設置、ならびに「ラコム通り」(オーロラタウン 93と町役場、りくべつ宇宙地球科学館を結ぶ約2キロの間)

の植樹帯において草刈りを行いました。

この活動が、町内の観光振興と景観美化に貢献したとして、陸別町 野尻町長より感謝状をいただきました。

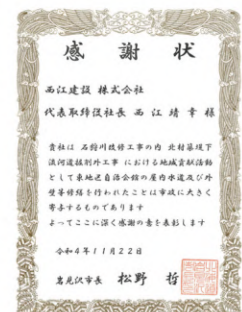


▲看板を設置する様子 ▲感謝状授与の様子

岩見沢市からの感謝状

11月22日(火)、石狩川改修工事の内 北村築堤下流河道掘削外工事 <現場代理人 小川真司> では、伊藤組土建(株)と共同して岩見沢市役所東地区自治会館の屋内水道工事及び外壁の修繕工事を行いました。

この活動が市政に大きく貢献したとして、岩見沢市 松野市長より感謝状をいただきました。



▲外壁修繕作業の様子 ▲作業完了後 ▲感謝状授与の様子

PLUS NEWS!

ヤナギの枝葉を動物園に提供

10月18日(火)と11月25日(金)、十勝川改修工事の内 美蔓築堤河岸保護外工事 <現場代理人 渡部勝幸> で伐採したヤナギを、おびひろ動物園に提供しました。当社では昨年9月から工事のために伐採したヤナギを同園に提供しており、これまでにのべ8回(2トトラックでおよそ9台分)となります。

10月の搬入時には7名の事務職員も参加し、搬入後にはエゾシカへの餌やりを体験させて頂きました。ヤナギの枝葉は園内の動物たちの餌やおもちゃとして役立てられるほか、産業廃棄物の削減・コスト削減にもなり、資源の有効活用に繋がっています。



▲現場で伐採した枝葉を搬入する様子



▲エゾシカに新鮮な葉をお届け

イルミネーション

西18条北1丁目にある当社の帯広工事事務所では、今年で18年目となるイルミネーションを点灯しています。

のべ2万4455球のLEDライトを用いて、事務所・ツリー・並木を飾り付けました。特に青・白・ゴールドで彩る高さ6mのツリーは必見です！ぜひお近くまでお立ち寄りください。写真撮影もご自由にお楽しみいただけます。

時間：16 - 22時
期間：3月中旬まで



▲作業中の様子。近隣の方が「いつも綺麗ですね、今年も楽しみです」と声をかけてくださいました



年末の御挨拶

早いもので、年末の御挨拶をさせていただく時期となりました。本年も皆様よりご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和5年も、社会基盤整備事業を通じ地域に必要とされ、そして地域に貢献する会社として社員一丸となって努力し続けてまいります。今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

明るく年も皆様にとって飛躍の一年になりますよう社員一同、お祈り申し上げます。

令和4年12月29日(木)～令和5年1月4日(水)は年末年始の休業とさせていただきます。

スケジュール

12月28日(水)	仕事納め
1月5日(木)	仕事始め
1月7日(土)	新年会
2月23日(木)	天皇誕生日のため休業
3月21日(水)	春分の日のため休業
3月31日(金)	次回「春号」発行予定

